

総合政策課長の仕事宣言！ 進行管理表（1）

総合政策課長 松 雪 努

重点事業の概要 [事業名：重粒子線がん治療センターの事業推進]

[目標値：平成27年度の新鳥栖駅利用者数 9,590人/日]

○誘致した地元自治体として、事業推進、資金収集活動、PR活動を積極的に推進する。

○リープロ2「九州をリードするまちづくりプロジェクト」に位置づけられた「地域特性を活かした魅力ある拠点の形成を図る」ために、重粒子線がん治療センターの事業促進を行うもの。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	商工会議所と一体となり、市内企業訪問による資金収集活動を実施した。また、市町村振興協会や久留米市から支援をいただくこととなった。 がん先進医療治療費助成事業について、4人の助成を行った。 佐賀県、財団等と連携し、博多どんたく、まつり鳥栖パレードに参加するなど、PR活動を推進した。
	自己評価	治療を開始し1年が経過し、患者数など当初計画よりも順調に推移している。 商工会議所と一体となった資金収集活動は一定の成果があったが、市補助金の低減につながるよう引き続きの活動が必要である。
	下半期への対応	商工会議所と一体となった資金収集活動の推進を引き続き行う。 がん先進医療治療費助成事業については、適切な対応を行う。
下半期	取組実績	
	自己評価	
	目標値の達成状況	
	次年度への対応	

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期

引き続き商工会議所と一体となった資金収集活動を行うとともに、重粒子線がん治療センターのPRに努めること。

下半期

総合政策課長の仕事宣言！ 進行管理表（2）

総合政策課長 松 雪 努

重点事業の概要 [事業名：メディカルツーリズムの検討]

[目標値：平成27年度の新鳥栖駅利用者数 9,590人/日]

- 重粒子線がん治療施設の広域的活用に伴う外来者の観光・保養等の可能性を調査研究する。
- リープロ2「九州をリードするまちづくりプロジェクト」に位置づけられた「地域特性を活かした魅力ある拠点の形成を図る」ために、重粒子線がん治療センターを活用したメディカルツーリズムの検討を行うもの。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	福岡市、久留米市、小郡市、鳥栖市、基山町で組織するグランドクロス広域連携協議会において、医療資源活用研究部会を立ち上げ、各市の医療資源の現地調査などを行っているところである。
	自己評価	各市の医療資源の現地調査をはじめたところであり、一定の評価はできるものと考えている。
	下半期への対応	各自治体における医療資源の状況調査やそれぞれの自治体の役割の明確化などを協議していくことが重要である。
下半期	取組実績	
	自己評価	
	目標値の達成状況	
	次年度への対応	

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期
広域連携で取組みができるよう努めること。

下半期

総合政策課長の仕事宣言！ 進行管理表（3）

総合政策課長 松 雪 努

重点事業の概要 [事業名：鳥栖・三養基地域ビジョン]

[目標値：平成27年度の連携事業数11連携事業の具体化（5事業以上）]

○リープロ4「広域連携のまちづくりプロジェクト」に位置づけられた「地域間交流・連携の取組」の推進のために、平成24年度に策定した鳥栖・三養基地域ビジョンに位置付けられた11の連携事業を着実に推進する。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	11連携事業のうち、避難者の相互受入協定の締結、スポーツを核とした取組の共同観戦、婚活支援事業の相互広報活動、職員の合同研修、防犯パトロール、図書館の相互利用が実施に至った。残る事業についても部会を組織し、協議を重ねているところである。
	自己評価	11連携事業について、着実な推進を図っているところである。
	下半期への対応	11連携事業の着実な推進を図るとともに、新たな連携事業の検討を行う。
下半期	取組実績	
	自己評価	
	目標値の達成状況	
	次年度への対応	

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期

連携事業について着実な推進を図ること。

下半期

総合政策課長の仕事宣言！ 進行管理表（4）

総合政策課長 松 雪 努

重点事業の概要 [事業名：将来のあり方検討委員会]

[目標値：平成27年度の連携事業数11連携事業の具体化（5事業以上）]

○リープロ4「広域連携のまちづくりプロジェクト」に位置づけられた「地域間交流・連携の取組」の推進のために、平成24年度策定の鳥栖・三養基地域ビジョンに基づき、地域の将来展望等について協議する委員会を設置し、合併を含めた様々な連携について一定の結論を得ることを目的とする。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	7月23日に将来のあり方検討委員会を開催し、今後の委員会の在り方について協議を行い、新たな連携事業についても検討することとし、これまで協議を行ったところである。また、サガン鳥栖の共同観戦を実施した。
	自己評価	新たな連携事業についての検討を行っている段階であり、これといった結果は残せていない。
	下半期への対応	新たな連携事業の検討を鋭意行っていく。
下半期	取組実績	
	自己評価	
	目標値の達成状況	
	次年度への対応	

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期

新たな連携事業について、引き続き検討を行うこと。

下半期

総合政策課長の仕事宣言！ 進行管理表（5）

総合政策課長 松 雪 努

重点事業の概要 [事業名：筑後川流域クロスロード協議会]

[目標値：平成27年度の広域連携事業数 10事業]

- クロスロード圏域の市町が連携し、市民目線、生活レベルに呼応した連携、相互補完を推進する。
- リープロ4「広域連携のまちづくりプロジェクト」に位置づけられた「広域連携の取組」の推進のために、クロスロード協議会の事業推進を図る。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	クロスロード地域ビジョンに基づき、事業展開のための各部会の開催、各種勉強会の実施等について担当者会議、担当課長会議を経て、総会での承認を受けた。また、クロスロード圏域でのサガン鳥栖の応援宣言に基づき、構成市町での共同応援を7月23日に実施した。
	自己評価	今後は、ビジョンに基づき連携事業の推進が課題となる。
	下半期への対応	連携事業の実施に向けた十分な検討が必要である。
下半期	取組実績	
	自己評価	
	目標値の達成状況	
	次年度への対応	

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期
 連携事業の実施に向けた検討を行うこと。

下半期

総合政策課長の仕事宣言！ 進行管理表（6）

総合政策課長 松 雪 努

重点事業の概要 [事業名：グランドクロス広域連携協議会]

[目標値：平成27年度の広域連携事業数 10事業]

- 新幹線開業等の状況変化を加味し、クロスロード圏域と福岡市の更なる連携策の検討を行う。
- リープロ4「広域連携のまちづくりプロジェクト」に位置づけられた「広域連携の取組」の推進のために、グランドクロス広域連携協議会の更なる連携策の検討を行う。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	グランドクロス広域連携協議会において、医療資源活用研究部会を設置し、様々な医療資源の現地視察を行っている。また、既存の企業誘致部会、観光部会は定期的に部会の開催を行っている。
	自己評価	新たな部会である医療資源活用部会が進められている。
	下半期への対応	それぞれの部会において活動が行われており、そのサポートを行う。
下半期	取組実績	
	自己評価	
	目標値の達成状況	
	次年度への対応	

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期

各部会で検討されている連携活動について推進を図ること。

下半期

総合政策課長の仕事宣言！ 進行管理表（7）

総合政策課長 松 雪 努

重点事業の概要 [事業名：部課長の仕事宣言]

[目標値：仕事宣言の公表 年3回]

- 部課長が当該年度、あるいは今後実施する事業の取組み方針を宣言することで、成果重視の行政運営につなげる。
- リープロ11「市民に信頼される市役所プロジェクト」に位置づけられた「成果重視の行政運営の実現」を図るため、総合計画リーディングプロジェクトに位置づけられた事業の的確な推進を行なうことを目的とする。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	今年度についても4月に仕事宣言の実施、5月に市長ヒアリングの実施、10月に中間管理ヒアリングを実施予定で進めており、総合計画重点事業の推進を図っている。
	自己評価	仕事宣言と第6次総合計画の連携に加え、総合計画を中心に据えた事務事業の展開の方向性が示せたものと考えている。
	下半期への対応	第2四半期の進行管理に合わせヒアリングを実施しHP公開を行い、事業の円滑な推進を図る。第4四半期の進行管理後にHP公開を行う。
下半期	取組実績	
	自己評価	
	目標値の達成状況	
	次年度への対応	

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期
引き続き、進行管理の公表に努めること。

下半期

総合政策課長の仕事宣言！ 進行管理表（8）

総合政策課長 松 雪 努

重点事業の概要 [事業名：行政改革の推進]

[目標値：行政改革ランキング173位以内]

○学校給食のあり方など、市政運営上の需要課題である懸案事項の集中的な検討、方向付けを行う。

○リープロ11「市民に信頼される市役所プロジェクト」に位置づけられた「行政改革」を進めるに当たっては、市民本意の行政運営の実現を図るため、その時々々の社会経済情勢に応じた取組みを進める。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	行革案件について、その課題解決方策の検討を行っている。
	自己評価	今後、一定の結論を得る準備は行えたものと考えている。
	下半期への対応	市民本位で効率的な行政運営を図るため、常に行政のあり方についての検討を行い、その中で新たな行政改革の検討を行うことが基本であり、現在着手している案件について、一定の方向性を導き出したい。
下半期	取組実績	
	自己評価	
	目標値の達成状況	
	次年度への対応	

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期

常に行政のあり方についての検討を行い、課題解決に向けて関係各課と連携を図ること。

下半期